

資料館だより

2023年 秋 号

contents

- 春の特別講演会・企画展、館長挨拶 …… 1
- 行事報告、14歳の挑戦 …… 2
- 夏休みイベント …… 3
- 資料館ニュース、インフォメーション …… 4

春の特別講演会・企画展 令和5年4月29日(土・祝)



野田館長の挨拶

資料館では、開館記念日に合わせて4月29日(土・祝)に、春の特別講演会を開催しました。この講演会では、富山県立大学工学部 講師の中澤暦氏に「人の生活と環境問題ーフィールドワークからみえてくることー」と題し、水銀をとおした環境問題について講演いただきました。

世界での水銀によるヒトへの健康被害の有無を問題提起とし、国外はインドネシア、国内は屋久島での調査のご経験に基づくお話に、約50名の参加者は真剣に耳を傾けていました。



中澤講師の講演



質疑応答の場面

また、4月28日(金)～5月7日(日)には、資料館1階展示室通路にて『「あの日あの時」写真展』を開催しました。

ゴールデンウィーク期間中の開催ということもあり、県内外からの来館者は、一枚一枚熱心に写真を眺めていました。

「春の特別企画展」を同時開催



「あの日あの時」写真展

特別講演会参加者の声

- ・危険物質としての水銀が一般的に使用されていた金属で、経口だけでなく吸入摂取の可能性も高いことを知り、驚きました。
- ・フィールドワークの実際を知ることができて大変勉強になりました。
- ・フィールドワークの面白さが屋久島の年輪調査の報告から、よくわかりました。
- ・大気中の水銀濃度等の研究成果について知ることができ、自分の周囲にも興味もてました。

進化するAI (人工知能)



AIは、データの解析やパターン認識を通じて、産業界での生産効率向上・品質管理・予測分析、医療診断や新薬の開発、自動運転、環境保護など既に活用が進められています。また、生成AIを用いれば、文章作成、画像、音声などさまざまなコンテンツも簡単に生成できます。

当資料館では、本年度中に老朽化したシステムの再構築と改修を予定しています。予算的制限もあり、現状の機能を維持し保守管理上支障をきたさないことが最優先と考えていますが、スマホの無料版の生成AIであるChatGPT-3.5を用いて、「イタイイタイ病資料館におけるAIの活用方法は」と問うと、展示案内と解説、自動翻訳サービス、AIとの対話型体験、VR/

富山県立イタイイタイ病資料館 館長 野田 八 嗣

AR体験、デジタルアーカイブ、教育プログラムの提供など具体的内容を示しつつその詳細について即座に返答してきます。これらの提案については、実現するにはコストが掛かり過ぎるのが問題ですが、将来的検討課題と考えます。一方、イタイイタイ病の伝承には、直接ご来館いただき語り部の方々からの講話など資料館での実体験も欠かせないと思っています。また、教育プログラムについても、毎年活用研修会を開催しておりますが、それぞれの学校の先生方と試行錯誤しながら構築していく過程も重要と思っております。

いずれにせよ、AIは、補完的ツールとして正しく利用すれば、環境問題も含めた社会問題の解決に大いに貢献してくれることは間違いのないと思います。

語り部及び解説ボランティア研修会

7月1日（土）に語り部及び解説ボランティア研修会として、富山市立宮野小学校教諭の小山憲章氏を招いて、「学習のゴールを意識してつくる資料館の解説や語り部講話」と題して、講演会を行いました。小山氏は、語り部として、来館した子供たちにどんな考えや気持ち、願いをもってもらいたいかを想定し、その上で何をどうやって伝えるかを決める必要があると話されました。



小山教諭の講演



語り部と解説ボランティアの皆さん

参加された語り部やボランティアの方は、まず何よりも小山氏の子供への熱意に心を動かされ、会話が弾みました。その後、写真を出しても子供たちから反応がなかった場合、慌ててすぐに次の写真を出してしまった経験から、写真や図、グラフ等を出すタイミングについての質問等が出されました。小山氏の経験をもとにした具体的な助言を受け、参加者は、自分の悩みや迷いを小山氏と共有することで、改善の糸口を見つける貴重な機会となりました。

イタイイタイ病資料館活用研修会



▲政二教諭の提案発表

宮崎校長の指導助言▶



グループワークで意見交換



◀三原教授の指導助言

水上先生の総括▶



8月25日（金）、イタイイタイ病を教材にした学習の可能性を探り資料館を有効に活用するための研修会を開いたところ、県内13小学校から16名の先生方が参加されました。

まず、資料館が提供する学習メニューや副読本などの学習資材を紹介し、展示案内や語り部講話のDVD視聴などで資料館利用の説明をしました。次に、2つのグループに分かれた先生方を富山国際大学教授の三原茂氏と小矢部市立蟹谷小学校校長の宮崎靖氏が指導助言し、イタイイタイ病を教材とした1時間の授業の進め方について意見交換をしました。その後、富山市立堀川小学校教諭の政二亮介氏から、実践をもとに、イタイイタイ病の問題に立ち向かう子供をどう捉え、意味付けるかについて提案がなされました。

最後に、元富山国際大学教授の水上義行氏は、「1時間の授業では、知識の共有を図るより、むしろ一人一人が問題意識を発展させるきっかけをつくるのが大切である」と総括され、イタイイタイ病を題材とする社会科教育の在り方について助言いただきました。

14歳の挑戦

7月4日（火）から7日（金）の間、「14歳の挑戦」として、富山市立興南中学校の2年生2名が来館しました。「14歳の挑戦」とは、中学2年生が、学校外での職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けることを目的としたものです。

2名の生徒は、当館と清流会館でイタイイタイ病にかかわる説明を聞いたり、仕事を手伝ったり、来館者への説明を補助したりしました。



展示室で解説の練習

イタイイタイ病資料館で学んだこと

- ・人に説明をするときは自分の中でどうしたらわかりやすいかを考え、文章を構成し、その後自分がまず理解しその人に伝えたいと思うことをしっかりと準備することが大切であるとわかりました。具体的な職業は決まっていますが、やりがいを感じ、自分で誇ることができる職業に就きたいと考えました。なので、自分が今できることを精一杯取り組んでいきたいと思えます。
- ・私は、相手に説明するのが苦手で、解説補助を任せられたときは不安を抱いていたけれど事務所の方々が難しく考えるのではなく相手に何を伝えたいのか、どう解説をしたら相手に興味をもってもらえるのかを考えることが大切であると優しく教えてくださったおかげで、解説することの楽しさを感じました。14歳の挑戦で学んだこと、教えてくださったことを今後の学校生活に活かしていきたいです。



清流会館での講習



資料館の夏休みイベントを行いました

富山の将来を担う子どもたちがイタイイタイ病や環境の大切さについて学びました



イタイイタイ病を学ぶ 日帰りバスツアー



神岡鉱業の和佐保たい積場で記念撮影

コロナ禍の影響が少なくなり、昨年に続き開催した「イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」には、県内の小学5・6年生児童とその保護者4組10名が参加して、イタイイタイ病に関係のある場所を巡りながら公害病を克服してきた歴史を学習しました。

資料館に集合した参加者家族は展示解説を聴いてから神岡鉱業に向けて出発しました。

神岡鉱業の工場では排水管理センターやシックナー（凝集沈殿装置）、たい積場を見学し、「環境安全最優先」の方針の下に、工場からの排水管理が徹底されているのを見てきました。

午後は、牛ヶ首用水の上流を出発点とし、カドミウム汚染から復元された地域をバスで巡りました。バスの中で、清流会館の事務局長平岡孝進氏の説明を聴きながら見学し、安全で良質な米作りのための努力と工夫を学びました。

最後に被害者団体の拠点施設「清流会館」では、イタイイタイ病対策協議会の会長小松雅子氏の講演を聴き、病気の実態と患者救済の歩みを教わりました。

猛暑の中でしたが全員が元気に資料館へ戻り、解散式でバスツアーを終えました。

開催日時：7月28日（金）＜8時40分～16時40分＞

見学場所：① 資料館

→ ② 神岡鉱業（排水管理センター、シックナー、和佐保たい積場）

→ ③ 牛ヶ首用水上流 → ④ 清流会館 → ⑤ 資料館

参加者の声

- ・イタイイタイ病にかかった人は、とても辛く、生きることもとても苦しいんだなと思いました。また次も参加したいなと思いました。（小学5年生）
- ・今まで学校の授業でさらっと習っただけでした。被害にあった方の悲惨な姿、心が痛みました。工場では、これからも安全対策をしっかりと続けてほしいです。（40歳代保護者）
- ・貴重な体験をすることができました。和佐保たい積場が満杯になるまで残り25年とのことだったので、それまで新しい方法が見つかることを期待しています。（40歳代保護者）



清流会館を見学

夏休み自由研究講座 ～イタイイタイ病の学習と酸性雨の水質調査～

小学5・6年生対象にした「夏休み自由研究講座」には、13組26名の親子が参加しました。

ガイダンス映像を視聴した後、資料館スタッフの解説を聴きながら展示室を回りました。神通川流域の農村に病気が発生した時期や要因を教わり、病気に苦しむ患者と家族の様子を再現したジオラマを見学しました。

さらに、地元の萩野医師たちによる病気の原因究明の努力、被害住民たちが団結して裁判勝訴にいたるまでの過程、その後の汚染農地の復元事業や今も続く発生源対策の取り組みについて学習し、イタイイタイ病の歴史や環境と健康の大切さに理解を深めました。

後半の「酸性雨の水質を調べる実験」では、薬学博士の朴木英治氏に紫キャベツや重曹を使った水にかかわる実験を演示していただいた後、富山市内に2か月間に降った雨水の酸性度を比較し、大気メカニズムと酸性雨が環境に与える影響を学びました。初めて扱う簡易測定器に手こずりながらも、参加者は真剣に実験に取り組んでいました。

閉講式では野田館長から参加児童全員に修了証が授与され、自由研究にも役立つ有意義な夏休みの思い出になりました。

開催日時：8月5日（土）・12日（土）＜13時30分から16時30分＞

内 容：①イタイイタイ病についての学習

②酸性雨の水質を調べる実験（講師：薬学博士 朴木英治氏）

参加者の声

- ・イタイイタイ病の恐ろしさや酸性雨など日常ではあまり感じられないことを感じられてよかったです。（小学5年生）
- ・イ病についてだけでなく、4大公害病のうち、四日市ぜんそくにかかわる対策などで酸性雨についても知れて、興味がわきました。（小学4年生）
- ・見応えのある内容で勉強になりました。酸性雨の実験は、酸性、アルカリ性のことが、より体感をもって実感することができたと思うのでとても有意義でした。（40歳代保護者）
- ・今後子供たちには探求型の学びが必要になる時代になりますので、色々な歴史を学びきっかけにしてほしいなと思います。イタイイタイ病資料館の意味はとても大きいと思います。（40歳代保護者）



イタイイタイ病の説明



講師からの演示実験



全員に修了証の授与

来館者いろいろ、学びもいろいろ



高岡看護専門学校の皆さん



オハイオ州立大学公衆衛生学科の皆さん



台湾の学生の皆さん

今年度に入り、小中高生だけでなく、いろいろな方が来館されました。例えば、看護にかかわる学生や医学部の学生、赤十字奉仕団員、労働組合中央女性協議会員、社会科教育研究会員、三井金属鉱業新入社員、神岡鉱業職員、環境省若手職員、オハイオ州立大学公衆衛生学科・台湾・韓国の学生の皆さんなどです。

右のように立場が違えば学びもいろいろあるようです。

来館者の声

- ・私は将来医師になって富山県内で働きたいと思っています。今回、イタイイタイ病について改めて知ったことで身が引き締まったとともに県内の医療に貢献したいという気持ちが強まりました。
(富山大学医学部学生)
- ・環境被害の具体例について学ぶことは大切であり、そのことで未来について考えていけると感じました。
(オハイオ州立大学公衆衛生学科学生)
- ・原因をつかった私たちの会社に対して、語り部の方は辛い経験をしておられたと思いますが、それでも私たちに話をしようと思われたきっかけは何だったのですか。とても心を動かされました。
(三井金属鉱業新入社員)

資料館インフォメーション

四大公害病の語り部講話を聴く集い ～語り部による伝承会～

四大公害病（水俣病、新潟水俣病、四日市ぜんそく、イタイイタイ病）の資料館からそれぞれの語り部を招いて、語り部4人の講話をお聴きします。四大公害病の語り部講話を一度に聴講できる貴重な機会です。

日時：10月21日（土） 13：30～16：30

場所：イタイイタイ病資料館 2F交流学習ルーム

人数：会場参加 40名程度

<参加無料>

これまでの出来事（令和5年度上半期）

令和5年

4月28日（金）～5月7日（日） 春の特別企画展
写真展『あの日あの時』

4月29日（土・祝） 特別講演会

7月1日（土） 語り部及び解説ボランティア研修会

7月28日（金） イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

8月5日（土） 夏休み自由研究講座

12日（土） ～イタイイタイ病の学習と酸性雨の水質調査～

8月25日（金） イタイイタイ病資料館活用研修会

これからの行事予定（令和5年度下半期）

10月21日（土） 四大公害病の語り部講話を聴く集い
～語り部による伝承会～

令和6年

2月中旬

イタイイタイ病を考える県民フォーラム
(講演、学習発表など)



イタイイタイ病資料館で語り部講話を聴講しませんか。

資料館を団体（原則10名以上）で見学される場合は、事前に申し込みいただくと、イタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。

詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

メールマガジン

【登録者募集中】

資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mlhope@itaitai-dis.jp】

発行/富山県立イタイイタイ病資料館

(令和5年9月発行)

〒939-8224 富山県富山市友杉151番地（とやま健康パーク内）

電話▶076-428-0830 FAX▶076-428-0833

ホームページ

イタイイタイ病資料館